

# ぎふビジネスプランコンテスト ビジネスプランシート

応募締切：2026年11月6日（金）17:00 ※提出期限厳守

## 1 学校名・グループ名

複数校での応募	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	※複数校での応募とは、複数の学校の学生で構成されるグループを指します。
学校名（代表校） ※略さず正式名称をご記入ください。	(フリガナ) ギフケンリツビジネスコウトウガッコウ 岐阜県立ビジネス高等学校	( 普通 科)
グループ名 (個人応募の場合は不要)	(フリガナ)	

## 2 ビジネスプラン

(1) ビジネスプランのタイトル・概要
ビジネスプランのタイトル ※30文字以内
書道で名前！外国人向けネームアート
ビジネスプランの概要 ※必要があれば、写真やイラスト、図などを使って表現してください。
岐阜県〇〇市に来る外国人観光客向けに、自分の名前を“漢字”で書いて持ち帰れる書道体験サービスを提供します。  高校生を含む、現地の日本人が書道体験の先生役となり、筆の持ち方・簡単な筆使い・名前の漢字選びと意味の説明を英語でサポートします。  体験後は作品をラミネートし、世界に一つだけの思い出としてお土産にできます。  〇〇市の観光施設・駅前・商店街などで実施します。

(2) ビジネスプランを考えたきっかけ・目的
ビジネスプランを考えたきっかけ・目的
私たちがこのプランを思いついた最初のきっかけは、〇〇市で最も人気の観光スポットである△△や〇〇駅周辺で、多くの外国人観光客が看板に書かれた漢字を非常に熱心に見つめ、何枚も写真を撮っている姿を日常的に見かけたことでした。アルファベットにはない漢字の面白さを活用して、自分たちの手で観光客への特別な体験価値として届けられないかと考えました。  さらに詳しく調べてみると、観光庁の2024年度の調査において、訪日外国人のニーズが「モノ消費（定番のお土産を買うこと）」から「コト消費（その土地ならではの文化体験をすること）」へとシフトしており、その需要はコロナ前の約〇倍に高まっていることが分かりました。  しかしながら、私たちの暮らす〇〇市は、歴史的な街並みや、人気飲食店等はあるものの、日本文化を体験できるスポットがまだ十分に整備されていないのが現状です。単なる物販とは異なる文化体験型サービスが、外国人観光客の満足度を上げることに繋がり、加えて地域活性化

に役立つと考えました。

また、高校生の私たちにとっても、英語のコミュニケーション力を高め、地域の観光産業に貢献する機会として理想的だと感じました。

私たちは書道という伝統文化を活用し、観光客と地域の高校生をつなげる新たな架け橋になりたいと考えています。

### (3) 顧客（商品・サービスを販売する先）

#### ①想定している顧客

・岐阜県〇〇市を訪れる、主に欧米圏（アメリカ、イギリス、オーストラリア等）やアジア圏（台湾、香港、シンガポール等）からの外国人観光客。年齢層は20代から40代の、個人旅行者（FIT）やカップル、ファミリー層。

・大型バスで移動する団体ツアーではなく、スマホの地図を片手に自分たちで街を歩き、ガイドブックに載っていないような「ローカルでディープな日本文化体験」を主体的に探している人。

・観光スケジュールが過密ではなく、電車やバスの待ち時間、あるいはランチ後のちょっとしたスキマ時間（30分～1時間程度）を有効に活用して、手軽に楽しめるコンテンツを求めている人。

#### ②想定している顧客の困りごとやニーズ

・【困りごと】「家族や友人へのお土産を買いたいけれど、どこの観光地に行っても同じようなプリントTシャツや大量生産のキーホルダーばかりで、自分だけの特別な限定品が見つからない」という悩み。

【ハードル】「せっかく日本に来たのだから日本語や漢字、書道に挑戦してみたいけれど、本格的な教室は敷居が高く、予約が必要だったり日本語しか通じなかったりして体験する一歩が出ない」という不安。

【旅行者の本音】「ただ景色を見るだけでなく、旅先で暮らす地元のローカルな人々、特に日本の若い世代の学生たちと直接言葉を交わし、温かいコミュニケーションを取ってみたい」という異文化交流のニーズ。

【発信への欲求】「InstagramのストーリーズやTikTokなどのSNSに、『自分が日本でアクティビティを楽しんでいる瞬間』や『自分専用の美しいオリジナル作品』をハッシュタグ付きで投稿し、友人に自慢したい」という動画・写真コンテンツへの強いニーズ。

### (4) 商品・サービス

#### ①商品・サービスの内容

1. パーソナル漢字選定とマンツーマン書道レッスン（約30分）： 受付にて観光客の英語名（ファーストネーム）をヒアリングします。私たちが事前に自作した「アルファベット A~Z対応 漢字音・意味ナビゲートシート」を一緒に見ながら、その人の好きな言葉や人柄（例：「クールなイメージ」「優しいイメージ」など）に合わせた漢字を数候補提案し、決定します。その後、机に敷いた防水シートの上で、高校生が「トメ・ハネ・ハライ」の基本動作を英語のジェスチャーを交えてお手本として示し、まずは練習用の半紙で数回練習を重ねた後、本番用の特製色紙に自分の手で清書してもらいます。

清書時には、観光客が真剣な表情で筆を運んでいる手元のアップや、墨が紙に染み込んでいく瞬間など、海外の若者にウケる「リアル動画・TikTok映えするスローモーション動画」をスタッフが観光客自身のスマホを使って撮影します。

2. メモリアル直筆メッセージ&耐久ラミネート加工（約10分）： 書き終えた色紙の裏面に、担当した高校生スタッフから、感謝の気持ちを込めた手書きの英語メッセージ（例：「Thank you for coming to Gifu! Wish you a wonderful trip!」）と、体験日を書き添えます。その後、ブースに設置したポータブルラミネーターを通し、フィルムでしっかりと熱密封加工を施します。これにより、帰国時の長いフライトやスーツケースの荷物に圧迫されても、破れたり折れ曲がったりせず、お家に帰ってからすぐにリビングや部屋の壁に美しく飾れる状態に仕上げて手渡します。

3. 記念写真撮影（約5分）： 自分で書き上げた作品を持って、お揃いの特製法被を着用した高校生スタッフと一緒に記念撮影を行います。

## ②既存の商品・サービスと比較したときにユニークな点

圧倒的な手軽さとワンコイン価格： 一般的な都市部の書道教室（1回60~90分、費用3,000円~5,000円、事前予約必須）と完全に差別化し、「予約不要、所要時間45分」という、カフェでコーヒーを1杯飲むような感覚でフラッとカジュアルに立ち寄れる敷居の低さを実現している点。

高校生が主役のインターナショナル空間： 着物を着た大人のプロ講師が正座で教えるお堅い講座スタイルではなく、地元の同世代の高校生が「Welcome!」と笑顔で迎え、お喋りやカルチャーの話題で盛り上がりながら楽しく学べる、フレンドリーでアットホームな空間そのものが価値である点。

持ち帰りやすさと実用性の徹底追求： 通常の書道体験のように「濡れた半紙を新聞紙に挟んで持ち帰る」という旅行者への負担をなくし、「色紙+ラミネート」というパッケージにすることで、カバンに放り込んでも汚れず、雨の日でも安心して持ち歩ける利便性を実現した点。

## ③具体的な販売（提供）方法、広告方法

出店場所の開拓とアプローチ： ○○駅前の観光案内所隣のフリースペースをはじめ、外国人バックパッカーが多数宿泊する地元のゲストハウスのロビーや、週末に定期開催される地域のクラフトマルシェ・フリーマーケットへのポップアップブース出店。

WEBを活用した事前集客： 世界中の旅行者が閲覧する予約・口コミサイト「TripAdvisor（トリップアドバイザー）」や「Airbnb体験（エクスペリエンス）」に英語のプログラム詳細と楽しそうな体験風景の写真を登録。さらに、ターゲットに直接届くよう「外国人が楽しそうに初めて筆を握っている15秒のショート動画」をInstagramやTikTokで配信し、アカウントのプロフィ

ールから出店スケジュールを確認できるようにします。

リアル連動の現地集客： 周辺のホテルやゲストハウス、観光コンシェルジュデスクの協力を仰ぎ、漢字の意味の一例がカラフルに描かれた「思わず体験したくなる英語のPOPチラシ」を設置。当日はブース付近で、英語の看板を掲げながら元気よく呼び込みを行います。

#### (5) 必要な経営資源

##### ①必要な経営資源（ヒト、モノ、技術、ノウハウ）

###### 【ヒト】（1回の出店につき合計3名程度のシフト体制）

・講師役・コミュニケーション担当（高校生2名）：学校の書道部員や書道が得意なメンバー、および笑顔で身振り手振りを交えながら積極的な英語コミュニケーション（または翻訳アプリの操作）を楽しめる人。

・受付・加工・撮影担当（高校生1名）：体験費用の会計、ラミネーターの操作と色紙のカット、および観光客のスマホを預かっての写真撮影をする人。

・メンター・統括（大人1名）：学校の顧問の先生や地域コーディネーターなど。金銭管理や売上計上の最終チェック、トラブルが発生した際のバックアップ役。

###### 【モノ】

- ・書道セット（筆、墨、硯、半紙、色紙）
- ・テーブル・椅子・防水マット
- ・ラミネーター・ラミネートフィルム
- ・説明資料（漢字の選び方、筆運び例）

###### 【技術・ノウハウ】

- ・書道基礎技術と指導力
- ・簡易英会話力
- ・SNS運用スキル
- ・イベント運営力

#### (6) 収支計画

		1年後	3年後
売上高 (a)		150万円	270万円
売上原価（仕入れ高） (b)		18万円	32.4万円
経費 (c)	人件費	93.6万円	132万円
	家賃	20万円	30万円
	水道光熱費	0万円	0万円

	備品	3万円	5万円
	宣伝広告費	5万円	8万円
	その他	0万円	0万円
	合計	117.6万円	169万円
利益 (a-b-c)		14.4万円	68.6万円

#### 収支計画の計算方法

#### 【売上高】

##### 年間開催回数

1年後：40回（週末開催・閑散期除外）

3年後：60回（繁忙期増枠）

##### 参加者数（平均）

1年後：15名/回

3年後：18名/回

##### 参加費

2,500円/人

1年後：40回 × 15名 × 2500円 = 150万

3年後：60回 × 18名 × 2500円 = 270万

【売上原価】 売上原価：商品・サービスを提供するために直接かかる費用（仕入れ、材料費など）

##### 原価（消耗品）

300円/人

1年後：300円 × 40回 × 15人 = 18万

3年後：300円 × 60回 × 18人 = 32.4万

【経費】 経費：お店や事業を続けるためにかかるその他の費用（家賃、光熱費、広告費、人件費など）

謝金単価 1,200円/時間

1回あたり稼働時間 5時間

スタッフ人数（当日）3名

##### 当日スタッフ謝金

1年後：720,000円（72万円） 3年後：1,080,000円（108万円）

その他人件費には、企画運営費・SNS更新費用を計上。

**会場費**

5,000円/回

**(7) 社会・地域へのインパクト****解決したい地域や社会の課題**

【体験機会の不足とミスマッチ】 近年、岐阜県〇〇市を訪れる外国人観光客の数は、年間△△△△人いますが、彼らが強く求めている「ローカルな日本文化に直接触れる体験（コト消費）」の機会が圧倒的に不足しています。既存の観光資源は「見るだけ（景観）」が中心であり、外国人観光客が能動的に楽しめるアクティビティが整備されていません。

【通過型観光による地域経済の損失】 外国人観光客の多くが、〇〇市「数時間だけ立ち寄って写真を撮る場所」として扱っており、滞在時間が非常に短い（通過型観光）という大きな課題があります。その結果、お土産の購入や飲食、宿泊といったまとまった経済消費が別の主要都市（名古屋など）で行われてしまい、地元の観光産業や地域経済へ恩恵が十分に還元されていません。

**このビジネスを通じて、その課題に起きる変化**

【滞在時間の延長と、地域への経済波及効果の創出】 手軽に参加できる「45分間の体験ブース」が駅前や観光地に生まれることで、電車やバスの待ち時間などを活用した観光客の引き留め（滞在時間の延長）に成功します。体験後、ラミネートの乾燥を待つ間に周辺の商店街でお茶を飲んだり、高校生スタッフが英語で「おすすめのレストラン」をレコメンドしたりすることで、観光客が地域に長く滞在し、より多くの消費を生み出す「地域経済の活性化」に直接貢献します。

【世代・国籍を超えた持続可能な「多文化共生」の土台作り】 書道という言葉の壁を越える伝統文化を介して、外国人観光客、地元の高中生、そしてブース運営を支える地域の大人が三位一体となって笑顔で交わる空間が生まれます。この「小さくても温かい国際交流の実績」が地域内にいくつも積み重なっていくことで、〇〇市全体のインバウンド受け入れ機運が高まり、将来的に世界から選ばれる「持続可能な観光まちづくり」の土台が構築されます。

**3 応募シート作成および提出にあたっての留意事項等**

(1) 応募締切は、2026年11月6日（金）17:00です。提出期限は厳守してください。提出期限を過ぎたものは、審査対象外として取扱います。

(2) ビジネスプランシートは、以下の条件に沿って提出してください。

- ・合計8ページ以内、ファイルサイズ上限は100MBまで  
※ページ数に「応募シート作成および提出にあたっての留意事項等」は含みません。
- ・ファイル形式はPDF
- ・ファイル名は「**学校名\_プランタイトル**」に設定  
例：岐阜県高校\_書道で名前！外国人向けネームアート

(3) ビジネスプランシートに内容を記入しきれない場合や、ビジネスプランを説明するにあたって必要な資料がある場合は、別途資料として、一緒に提出することができます。提出する場合は、以下の条件をご確認ください。

- ・合計3ページ以内、ファイルサイズ上限は100MBまで
- ・ファイル形式はPDF

- ・ファイル名は「**学校名\_プランタイトル（別途資料）**」に設定  
例：岐阜県高校\_書道で名前！外国人向けネームアート（別途資料）

(4) グループ名、プランタイトルは30文字以内で記入してください（絵文字の使用不可）。ビジネスプランシートの記載内容が、応募フォームの登録内容と異なる場合は、応募フォームが正しいものとして取扱います。

(5) 最終プレゼンテーション（2027年1月23日（土）開催）に進出するファイナリストの発表は、2026年12月上旬を予定しています。決まり次第、応募フォームにご記入いただいた連絡先宛てにご連絡いたします。

(6) 本ビジネスプランコンテストでは、ビジネスプランを以下の各項目により審査・選考します。

- ① 実現したいという熱意
- ② 市場性・ニーズ
- ③ 独創性・着眼点
- ④ 実現可能性・採算性
- ⑤ 社会・地域へのインパクト

#### (7) ビジネスプランシート作成におけるポイント

ビジネスプランコンテストの審査においては、アイデアの目新しさだけでなく、プランの「解像度の高さ（具体性）」が重視されます。シートを作成する際は、願望や抽象的な表現に留めず、以下の3つのポイントを常に意識して論理的に記述してください。

1. 客観的な「数値」による裏付け：「たくさんの顧客」「安価な費用」「しばらくの間」といった曖昧な言葉は避け、時間、金額、個数、期間などを具体的な数値として明記しましょう。
2. 対象（ターゲット）の明確な限定：「すべての地域」「みんな」のように対象を広げすぎず、どのような属性を持つ顧客に、どの場所（施設や店舗など）でアプローチするのかを具体的に絞り込んで記述しましょう。また、その想定顧客が日常でどのような困りごとを抱えており、自分たちの提供するどの機能や工夫がそれを確実に解決できるのかという因果関係を合わせて記述してください。
3. 調査データや根拠の明示：「~だと思う」「~だろう」といった主観や推測に頼らず、官公庁が発表している白書や統計データ、ニュースあるいは自身で行ったアンケートなどの客観的な事実に基づいた根拠を添えましょう。また、小さくても「既に自分たちで行動し、検証・実践したこと」があれば、ヒアリング結果やテスト時の写真などを、積極的にシート内に盛り込んでください。

#### 【問い合わせ】

こちらのフォームよりお問い合わせください。

<https://form.run/@gifu-entre-faq-2026>